



UTO から世界へ！ 第23号

夏の挑戦 ～阿蘇編～ 台湾国立彰化師範大学の学生とともに

宿泊した阿蘇少年交流の家には、自然がとてもきれいで、牛が何頭もいました。



イングリッシュサマーキャンプ in 阿蘇(令和6年8月実施)に、宇土高生14人が参加しました。講師の台湾国立彰化師範大学の学生さんと3泊4日、英語漬けの生活を送りました。

代表して、2年6組江崎結衣さんと木村紗彩さんの報告を紹介します。

台湾国立彰化師範大学の皆さんと



台湾の大学の教育学部で英語を学んでいる先生6名と熊本県だけでなく全国から来た高校生(1年生から3年生)40名程度を対象としたキャンプです。キャンプ中の活動はほとんどが英語で受けたり、会話したり、交流したりします。授業では台湾のことや世界問題をテーマに話し合ったり、アートの時間ではブックマーカーを作ったりととても楽しく活動できました。

台湾の国土、地形、人口、食べもの、教育、文化などのたくさんを知ることができました。また、最後に先生からの英語でのメッセージカードをもらって、文法や単語などをしっかり読むことができ、内容が理解できたのがとても嬉しかったです。

成果

スペシャルエピソード

台湾は夜に食べ歩きすることができ、遅くまで空いている店が多いそうです。また、千と千尋の神隠しは台湾が舞台(九份)で、実際に人が住んでいて、たくさんの日本人観光客も多いそうです。



今後の展望

英検2級を近い内に受験するので、それまでにたくさんの英語を耳にして、たくさんの単語を覚えたいです。いつかまた同じような経験をしたときに、もっと自分が英語を話せるようになれるように、日頃からのコミュニケーションを大事にしたいです。

10/28-10/31
宇土中高生15人
台湾台北へ!

生徒へのメッセージ

英語ばかりの活動というイメージも多いと思いますが、実際は本当に楽しく活動し英語力を身につけることができました。私はこのプログラムに誘ってくれた友達や台湾から来てくれた先生、キャンプを通してできた友達、そしてこのプログラムを支えてくれた人たちにとても感謝しています。
不安なことがたくさんあるかもしれないけれど一歩踏み出して新しいことに挑戦出来るようにがんばってください!!

